

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員:4名回答、回答率100%

保護者様:36名回答、回答率86%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・パーテーションなどを活用して空間を分けてスペースの確保はできている。個室は保護者待機室となるため、難しい場合もあるが一時的に使用可能にするなど、クールダウン等の個々の空間は必要に応じて状況に合わせた対応をしている。
- ・入口からフラットになっているが、室内の一部の床で大きめの傾斜が確認できるため、つまづき転倒の要因になり得る懸念がある。また、入口から訓練室が地続きであるため、出入りが頻繁にある時間帯は活動中の児童の気が散ったり、あるいは外に出やすいリスクもある。飛び出さないよう注意を払っている。

○業務改善

- ・支援の質向上を図る社内研修への受講が開催されている。
- ・事務的な業務が滞ってしまうこともあり、定期的に改善を図りながら対応していけると良い。支援環境について、他部門から助言をいただき改善を図っている。

○適切な支援の提供

- ・業務前ミーティングにて、日頃の児童の様子や保護者様からの話などについて共有、支援方法への具体案等職員全体で話し合い、振り返りを行っている。
- ・日頃の情報共有、心理士や作業療法士など専門職からの助言をもとに、毎月の活動プログラム、お子様それぞれの目標設定や課題の提供に努めている。

○関係機関や保護者との連携

- ・日頃からの聞き取りに加えて子どもについて個別の相談を受けた際は、必要に応じて保護者様や学校側と連携、情報共有を行う。また、ご自宅で出来そうなことへの助言等もお伝えするようにしている。
- ・外部の関係各所からのチラシなど、保護者が目にしやすい場所へ掲載するなどしている。

○保護者への説明責任等

- ・活用できてない媒体もあるが、日頃から丁寧に子どもの様子や必要書類などについてお伝えするよう心掛けている。
- ・保護者参観、保護者会など保護者同士の交流の場を設ける時期を調整していく。

○非常時等の対応

- ・安全計画を基に、色んなテーマでの毎月の避難訓練や各マニュアルに則った対応、訓練を時期に応じて実施している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・9割以上の方に職員配置や活動空間は「よく見てもらえていると思う」などと評価をいただく。「既存物件での限界はあると思うが工夫はされていると感じる」とご理解へのご意見もあった。
- ・床の一部盛り上がり(傾斜)についてのご指摘があった。

○適切な支援の提供

- ・支援提供に関して、9割以上の方から良い評価をいただけており、「面談等を通して要望、子どもへの理解、特性や苦手に応じた支援に対応いただけている」とのご意見もいただいた。

○保護者への説明等

- ・契約、または支援内容への説明、職員からの共感的な支援について、9割以上の方から高い評価をいただき、日頃から子どもの状況、発達の状況について共通理解を持った対応や聞き取りについても、「非常に丁寧に対応いただいている」とのお言葉をいただいた。
- ・保護者の交流は一部取れているようだが、全体では不十分であるため保護者会などの場設けていけると良い。

○非常時等の対応

- ・避難訓練の実施や避難場所について「わからない」と把握しきれていない方が一定数いた。掲示したり毎月伝えるようにしているが、より分かりやすく周知していく工夫が必要である。

○満足度

- ・すべてのご家庭から、「こどもは安心感をもって通所している」と高い評価をいただき、8割以上の方から「こどもは通所を楽しみにしている」に、「はい」の回答があり、お子様の感想や成長を喜ぶ声もいただけた。
- ・保護者送迎への負担から、「事業所の送迎サービスがあると助かります」とご希望があった。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・災害時に重要となる避難場所などの情報を、掲示することで全利用者へご理解いただく。
- ・フィードバックをより伝わりやすくするため、保護者様に聞いてもらいやすい位置へご案内してお伝えするなど、環境設定の改善に努める。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・第一避難場所のルートなどを入口近くの利用者、保護者の目に入る位置で掲示。児童、保護者様が避難場所を再確認する形へ繋がった。避難訓練を実施した日にフィードバックで口頭でも合わせてお伝えする事でより周知できるよう対応していくと良い。
- ・内容に合わせてグループを分けて近くでお話したり、指導員の位置や子どもたちへフィードバック中の過ごし方などを伝えた。安定した面もあるが、より伝えやすい空間にできるよう、子どもの様子と合わせて環境を作っていけると良い。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・子どもの特性に寄り添った対応、発達段階や目標に合わせた課題や療育内容を考えて支援の提供を行っている。
- ・日ごろから丁寧なフィードバックや保護者との情報共有を行い、療育や支援などに繋げ、安心感をもって通える空間を提供している。

○改善点

- ・教室内の環境を整え、伝わりやすい空間、安全に配慮した空間を作っていく。
- ・普段顔を合わせる機会の少ない保護者同士の交流の場を設けることができなかった。
- ・災害時等の避難場所について周知しきれていなかった部分があった。
- ・支援内容や活動の様子についての説明、掲示方法の工夫をしていく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者同士の交流の機会や療育参観等の実施に向けた調整を行っていく。
- ・子どもの様子や課題、保護者の悩み等お話を継続的に聞き、助言等を行うことで保護者支援、家族支援に繋げ、より丁寧な支援の提供や相談しやすい関係性、環境づくりを目指す。
- ・避難訓練実施内容に経路の確認、練習を取り入れたり、避難場所や経路を待機室にも掲示するなど、保護者の目に入りやすい環境を作る。

○1年間で取り組む具体策

- ・災害時等の避難場所について、掲示だけでなく、避難訓練などを行った際のフィードバックでも再度直接お伝えすることで再周知を図る。
- ・支援内容や活動の様子について、イベントなどを行った際の写真等を個人情報に配慮した上で紹介していく。
- ・保護者会や療育参観に参加しやすい時期の調整と実施。